



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和7年4月第4回市長定例記者会見

・日時 令和7年4月28日(月)
午後1時
・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 市内のにぎわい創出のためのプロモーターとして
新たな渋川市地域おこし協力隊員を委嘱します (資料1)
- 2 渋川市内の高校生が開発したオリジナルカレーを販売する
「私たちの街カレー つくって売って盛り上げよう大作戦!!」を開催します (資料2)
- 3 男女共同参画や共生社会の実現に向けて
労働者が安心して働く職場環境づくりを支援します (資料3)
- 4 若者の渋川市への就職・定着を応援する「渋川市インターンシップ推進補助金」
の対象学生の範囲を拡大します (資料4)
- 5 国際理解講座「モーリタニアってどんなところ? 外務省の人に聞いてみよう!」
を開催します (資料5)
- 6 渋川市PR動画シナリオコンテストを実施します (資料6)
- 7 YouTube渋川市公式チャンネルにおける令和7年度の番組予定をお知らせします
(資料7)

その他資料提供

- ・ミニシンポジウム「しぶかわ未来共創まちなかセッション」を開催します (資料8)
- ・渋川市20周年記念事業 ラジオ体操会を開催します (資料9)

○次回開催予定

日時：令和7年5月7日(水) 午後1時
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時 間	件 名	場 所	所 管
	9:00	府議	市役所本庁舎	政策戦略課
4月28日(月)	13:00 終了後 14:30	地域おこし協力隊委嘱状交付式 市長定例記者会見 スタートアップミーティング	市役所本庁舎 市役所本庁舎 市役所本庁舎	政策戦略課 広報室 政策戦略課
4月29日(火)	9:30	第37回小野上温泉まつり 湯くみの儀・開会式	小野上温泉センター駐車場	観光課
4月30日(水)	11:00 17:00	群馬県市長会令和6年度決算監査 子持産業振興(株)臨時株主総会及び取締役会	市役所本庁舎 子持行政センター	秘書室 農政課
5月1日(木)	13:00	温泉所在都市協議会令和6年度決算監査	市役所本庁舎	観光課
5月2日(金)	9:30	長寿者顕彰	市内	高齢者安心課
5月3日(土)				
5月4日(日)				
5月5日(月)				
5月6日(火)				
5月7日(水)	9:00 13:00	府議 市長定例記者会見	市役所本庁舎 市役所本庁舎	政策戦略課 広報室

資料1

市内のにぎわい創出のためのプロモーターとして 新たな渋川市地域おこし協力隊員を委嘱します

渋川市は、市内のにぎわい創出を図るため、イベントの企画・運営などを行うプロモーターとして、令和7年5月1日(木)から、新たな地域おこし協力隊員を委嘱することになりました。

新たな隊員の委嘱式を、4月28日(月)に開催します。

1 概 要

渋川市は、市民の文化・芸術の振興や教育・スポーツなどを通じた心身の発達など、地域社会の発展に向けた事業に取り組む公益財団法人渋川市まちづくり財団の活動を支援し、市内各地で様々なイベントを開催して、まちのにぎわい創出に取り組んできました。

まちづくりには「若者」「バカ者」「ヨソモノ」の要素が必要だといわれています。今回、「ヨソモノ」の視点で、これまでになかったようなイベントを企画・運営してもらうことで、さらなるまちの活性化につなげることを目的に、にぎわい創出のためのプロモーターとして活動する地域おこし協力隊員を、令和7年5月1日(木)から委嘱することとなりました。

2 委嘱する地域おこし協力隊員

広井 沙希 (ひろい さき) さん

- ・年 齢=29歳
- ・現 住 地=東京都 (出身地は新潟県)
- ・経 歴=専門学校卒業後、営業業務等を経験
- ・応募動機=小学校から社会人に至るまでダンスに親しみ、数々のイベントの企画・運営に携わってきた経験を生かし、多彩なイベントの企画やSNSによる情報発信により、渋川市のまちづくりに貢献したいという思いから応募に至りました

3 業務内容

市内のにぎわい創出のために実施するイベントの企画・運営管理・関係者との調整
・プロモーション活動 など

4 委嘱期間 令和7年5月1日～令和8年3月31日まで
※更新あり (最長3年間)

5 委嘱式の開催

- (1) 日 時 令和7年4月28日(月) 午後1時から
- (2) 場 所 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室
- (3) 内 容 委嘱状交付、市長からの激励、隊員による今後の抱負

参考

1 地域おこし協力隊とは

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動して、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱するものです。

隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

全国では、令和6年度末現在、1,176団体において7,910人、県内では令和6年4月1日現在、25市町村において127人の協力隊が活動しています。

なお、渋川市では、これまでに8人（うち活動中は3人）が活動し、今回の委嘱で9人目になります。

2 これまで委嘱した地域おこし協力隊（敬称略）

No.	氏名	出身地	活動分野	活動期間	現在の状況
1	福田 崇人 ふくだ たかひと	奈良県	観光振興	H30. 6. 1～ R 3. 3. 31	個人事業主として市内で活動中
2	長沼 未希 ながぬま みき	山梨県	観光分野	R元. 8. 1～ R 6. 3. 31	個人事業主として市内で活動中
3	大野 雄哉 おおの ゆうや	東京都	地場産業 (創作こけし)	R元. 9. 2～ R 6. 3. 31	独立開業し、市内で活動中
4	阪口 壮汰 さかぐち そうた	大阪府	地場産業 (創作こけし)	R 2. 4. 1～ R 5. 3. 31	独立開業し、市内で活動中
5	星野 隼人 ほしの はやと	群馬県	空き家 利活用推進	R 3. 12. 27～ R 6. 12. 26	個人事業主として市内で活動中
6	胡 玄輝 こ げんよう	台湾	インバウンド 観光振興	R 6. 10. 1～	現役隊員として活動中
7	小川 廣大 おがわ こうだい	埼玉県	地場産業 (創作こけし)	R 7. 4. 1～	現役隊員として活動中
8	平野 凪紗 ひらの なぎさ	富山県	地場産業 (創作こけし)	R 7. 4. 1～	現役隊員として活動中

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

資料2

渋川市内の高校生が開発したオリジナルカレーを販売する 「わたしたちの街カレー つくって売って盛り上げよう大作戦!!」 を開催します

渋川市内の高校生たちがプロの料理人と開発したオリジナルカレーを販売するイベントを開催します。

渋川市産の野菜を使ったカレーを市内外の人たちに食べていただくことで、渋川市の魅力をPRするとともに、地域のにぎわいを創出します。

1 概 要

高校生が主体的に地域活動を行うためのサポートを行う「ユースセンターよはく」及び「JR東日本高崎支社 Aiプロジェクト」が中心となり立ち上げた「わたしたちの街カレー実行委員会」が、渋川市にぎわい創出イベント補助金を活用して、渋川市20周年記念事業「わたしたちの街カレー つくって売って盛り上げよう大作戦!!」を開催します。

これは、渋川市内の高校生が主体となり、地元農家の協力のもと、JR渋川駅構内及び渋川駅前通りの店舗において、渋川市産の野菜を使用したカレー販売を実施することで、渋川市の魅力のPR及び地域のにぎわいの創出を目的としたイベントです。

連休期間中に渋川駅へ「SLぐんま」が停車するタイミングで、「渋川市の絶品街カレーいかがですか?」をテーマとして駅構内でも販売することで、多数の市外の人々に渋川市の魅力を伝え、地域の交流や活性化を図ります。

2 開 催 日 令和7年5月3日(土)、4日(日)、5日(祝・月)

3 販売場所・販売時間(予定)

(1) JR渋川駅ホーム (SL停車中の立ち売り販売)

午前10時30分～10時55分

(2) JR渋川駅構内 (旧みどりの窓口での特設販売)

午前10時55分 (SL発車後)～午後2時

(3) TY Kitchen (「珈琲喫茶シープ」店内・渋川市渋川1830番地23)

午前11時～午後2時

※当日分売り切れ次第販売終了

4 商 品 名 Center of physicurry (センター オブ フィジカリー)

5 販 売 数 3日間で約300食 (1食:税込1,000円)

6 主 催 わたしたちの街カレー実行委員会

7 協 力

・ユースセンターよはく (一般社団法人ポータル)

・JR東日本高崎支社 Aiプロジェクト

・株式会社クレッセント

・株式会社森の香

8 記者会見出席者

- ・わたしたちの街カレー実行委員会
委員長 千明 俊太 (ちぎら しゅんた) さん (ユースセンターよはく)
加々美 愛茉 (かがみ えま) さん (渋川女子高等学校3年)
佐藤 茉陽 (さとう まひる) さん (渋川女子高等学校3年)
徳永 遥 (とくなが はるか) さん (渋川女子高等学校3年)
小池 里穂 (こいけ りほ) さん (渋川女子高等学校2年)
- ・JR東日本高崎支社 渋川営業統括センター
所長 丸山 日出子 (まるやま ひでこ) さん (渋川駅長)
副長 兵藤 俊吾 (ひょうどう しゅんご) さん (Aiプロジェクト)
・フードコーディネーター 浅子 百合 (あさこ ゆり) さん

参考

1 「ユースセンターよはく」について

高校生や大学生などのユース世代が、放課後などに思い思いに好きなことをして過ごせる学校以外の居場所で、令和6年4月に開所しました。

- (1) 所在地 渋川市渋川1816番地22
- (2) 開所日 毎週月・水・金曜日 (平日)
- (3) 利用料 高校生以上1日100円
- (4) 代表者 所長 千明 俊太 (電話070-3277-0605)

2 「JR東日本高崎支社 Aiプロジェクト」について

吾妻線沿線地域の活性化を目的として、2022年2月に発足した、組織横断プロジェクトチームです。2024年4月からは上越線もエリアに加えてパワーアップしています。

JR東日本高崎支社の現業機関で勤務する若手社員を中心にメンバーを構成し、毎月4日程活動を行っています。

プロジェクト名の「Ai」込められた意味は次のとおりです。

- ・A→吾妻線(Agatsuma Line)、活性化(Activation)
- ・i→私(メンバー・お客さま・地域の皆さん)、愛
- ・Ai→出会い・ふれあい・吾妻愛

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏 (内線4899)
担当: 産業政策課 (電話0279-22-2596)
課長 山田 量俊 (内線4890)
商工・産業振興係長 保科 陽介 (内線4895)

資料3

男女共同参画や共生社会の実現に向けて 労働者が安心して働く職場環境づくりを支援します

渋川市は、男女共同参画や共生社会の実現に向けて、労働者が安心して働く職場環境を整備し、労働力の確保、雇用の定着を促進するため、令和7年度の新規事業として、職場環境の改善に取り組む市内に事業所を有する中小企業者等に対し、補助金を交付します。

1 概 要

渋川市は、誰もが活躍できるまちづくりを目指して、働く女性が男性と同様に活躍できる職場環境をはじめ、労働者のワーク・ライフ・バランスの実現や職場内のバリアフリー化など、女性の活躍や共生社会の実現を後押しするために、中小企業者が行う労働環境整備などの働きやすい職場環境づくりに対して補助金を交付します。

この取り組みにより、男女共同参画や共生社会の実現を推進するとともに、労働力の確保および雇用の定着を促進します。

2 名 称 誰もが働きやすい職場環境づくり応援事業補助金

3 内 容 ※(1)～(6)の補助金は、併用して受けることができます

(1) 男女共同参画推進型

- ①女性従業員専用の施設（トイレ・洗面所・更衣室・休憩室・シャワー室）の新設または改修に係る費用の一部を助成します
- ②補助率3分の2（限度額＝新設50万円、改修40万円）

(2) 共生社会推進型

- ①職場内の共生社会の実現に向け、バリアフリー化を目的とした事業所内フロアの段差解消やスロープまたは手すりの新設、バリアフリートイレの新設または改修に要する費用の一部を助成します
- ②補助率2分の1（限度額＝30万円）

(3) 就業規則等整備型

- ①就業規則および同規則に準ずる規程等の作成または変更を行うために必要な社会保険労務士等に対する報酬等の費用の一部を助成します
- ②補助率2分の1（限度額＝5万円）

(4) 研修会等開催型

- ①職場環境の向上や人材育成を目的とした研修会に招く外部講師の謝金、会場借上料、研修に係る資料代等の費用の一部を助成します
- ②補助率2分の1（限度額＝5万円）

(5) 認定取得型

- ①一般事業主行動計画（※）を策定し、計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たして、くるみん認定、えるばし認定を受けた市内中小企業者に補助金を交付します
- ②補助額10万円

※一般事業主行動計画は、企業が従業員の仕事と子育ての両立や女性労働者に対する雇用環境の整備等に取り組むための計画

(6) ステップアップ型

- ①プラチナえるばし認定の取得やプラチナくるみん認定を取得した市内中小企業者に補助金を交付します
- ②補助額5万円

4 対象者

以下の条件を全て満たす事業者

- (1) 申請日時点で市内において1人以上の労働者が配属されている事業所を営業している中小企業者等であること
- (2) 新設または改裝を行う場合は、事業所の所有権その他の使用権限を有すること
- (3) 市税を滞納していないこと など

5 申請受付期間 令和7年5月1日(木)～令和8年1月30日(金)

6 予算額 630万円

7 周知方法

「広報しぶかわ」5月号や市ホームページに掲載するほか、商工関係団体等へのチラシの配布などにより周知します。

8 その他

県内他市で同様の補助金を交付している市はありません。

参考

1 くるみん認定とは

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業が、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として厚生労働大臣から受ける認定。

くるみん認定を取得することにより、「子育てサポート企業」としてアピールできることに加え、くるみん助成金の活用や公共調達における加点評価、賃上げ促進税制等のメリットがあります。

2 えるぼし認定とは

女性活躍推進法に基づき、一般事業主行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況が優良である等の一定の要件を満たした場合に厚生労働大臣から受ける認定。

えるぼし認定を取得することにより、女性の活躍が進んでいる企業として、企業イメージの向上につながる事に加え、日本政策金融公庫の低金利融資の利用、公共調達における加点評価等のメリットがあります。

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏 (内線4899)

担当: 産業政策課 (電話0279-22-2596)

課長 山田 量俊 (内線4890)

商工・産業振興係長 保科 陽介 (内線4895)

資料4

若者の渋川市への就職・定着を応援する 「渋川市インターンシップ推進補助金」の 対象学生の範囲を拡大します

渋川市は、若者の渋川市への就職・定着を応援し、地元企業の人材確保と地域活性化を目的に、求職中の学生や若手求職者をインターンシップ等で受け入れた事業所に対し補助金を交付します。令和7年度は、求職中の学生の範囲を、当該年度の卒業見込みの人に加えて、翌年度の卒業見込みの人を対象とします。

1 概 要

渋川市は、多くの中小企業が抱える人手不足、人材育成、雇用定着といった課題に対応とともに、雇用のアンマッチによる早期離職を防ぐため、求人活動の一環として、求職中の令和7、8年度卒業予定の学生又は30歳未満の若手求職者を対象にインターンシップを受け入れた市内事業者に対して、補助金を支給します。

2 名 称 渋川市インターンシップ推進補助金

3 対 象 者

以下の条件を全て満たす事業者

- (1) 交付申請日時点で渋川市内に事業所を有する事業者であること
- (2) 雇用保険法施行規則の規定により、渋川公共職業安定所に届出を提出していること
- (3) 求職活動の一環として、2日間以上のインターンシップを学生または申請時点で30歳未満の若手求職者を対象に実施することなど

4 支 給 額

インターンシップ1人1日当たり1,000円を10日間を限度に支給します。

障害者のインターンシップを受け入れた場合は、1人1日当たり3,000円を10日間を限度に支給します。

5 申請受付期間 令和7年5月1日(木)～令和8年1月30日(金)

6 予 算 額 13万円

7 周知方法

「広報しぶかわ」や市ホームページに掲載するほか、商工関係団体等へのチラシの配布などにより周知します。

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏 (内線4899)

担当: 産業政策課 (電話0279-22-2596)

課長 山田 量俊 (内線4890)

商工・産業振興係長 保科 陽介 (内線4895)

資料5

国際理解講座「モーリタニアってどんなところ？外務省の人に聞いてみよう！」を開催します

渋川市国際交流協会は、国際情勢や外国の文化などへの理解を深めるため、国際理解講座を実施しています。

今回は、渋川市がホストタウンであるモーリタニアへの理解を深めるため、在モーリタニア大使を講師に招き、外務省の業務や外交に関する話を交えながら、モーリタニアの文化等を分かりやすく紹介します。

1 概 要

渋川市国際交流協会は、国際情勢や諸外国の文化などへの理解を深めることを目的として、国際理解講座を実施しています。

渋川市は、文化やスポーツ等を通じた相互交流を深めることを目的として、令和元年10月にモーリタニア・イスラム共和国のホストタウンに登録されました。今回は、ホストタウン交流の一環として、「モーリタニアってどんなところ？外務省の人に聞いてみよう！」と題し、在モーリタニア大使を講師に招いて、外務省の業務や外交に関する話を交えながら、モーリタニアの文化等を分かりやすく紹介します。

2 開催日時 令和7年5月21日(水) 午前10時～11時

3 会 場 渋川市社会福祉センター（渋川ほっとプラザ）4階大会議室
(渋川市渋川1760-1)

4 内 容

- ・モーリタニアの文化等について
- ・外務省の業務や外交に係る内容

5 講 師 内田 立国（たつぐに）氏
(モーリタニア・イスラム共和国 駐 ちゅう しゆ特命全權大使)

6 定 員 40人（先着順）

7 参 加 料 無料

8 申込方法 参加希望者の氏名・住所・電話番号を電話（0279-22-2463）またはメール（sia-shibukawa@city.shibukawa.gunma.jp）で渋川市国際協会事務局へ

9 申込期間 令和7年5月8日(木)～16日(金)

参考

過年度の国際理解講座実施状況（過去3回分）

1 令和4年度

- (1) テーマ 韓流ブームからよみとく！見どころいっぱい韓国の魅力
(2) 実施日時 令和5年1月15日 午後2時～3時30分
(3) 実施会場 中央公民館講義室
(4) 内容 韓国の歴史や文化について
(5) 参加人数 32人

2 令和5年度

- (1) テーマ デジタルツールを使って海外旅行に行ってみよう！～韓国編～
(2) 実施日時 令和5年8月27日 午後2時～3時30分
(3) 実施会場 中央公民館講義室
(4) 内容 韓国の文化紹介のほか、デジタル社会における韓国旅行の手続きやスマホアプリを用いた旅行の楽しみ方を紹介
(5) 参加人数 32人

3 令和6年度

- (1) テーマ お菓子を作りながら外国を学ぼう！～中国編～
(2) 実施日時 令和6年9月28日 午後2時～3時45分
(3) 実施会場 中央公民館調理室
(4) 内容 大根もちの調理実習のほか、中国の歴史とお茶の歴史を地理的背景から読み解く
(5) 参加人数 18人

■問い合わせ先

渋川市国際交流協会

事務局長（市民環境部長） 堀口 幸則（内線1100）

担当：事務局（市民協働推進課内）（電話0279-22-2463）

事務局次長（課長） 小野 宏仲（内線4314）

自治活動支援・市民交流係長 荒木 信彦（内線4315）

資料6

渋川市PR動画シナリオコンテストを実施します

渋川市は、市の認知度向上や交流人口の拡大を目指し、市の魅力が伝わるPR動画のシナリオをコンテスト形式で募集します。

コンテストの受賞作品は、今後、渋川市PR動画を制作する際に活用する予定です。

最優秀賞の受賞者には賞金10万円、優秀賞の受賞者には賞金5万円を贈呈します。

1 概 要

渋川市は、平成28年から市公式のYouTubeチャンネルを開設し、PR動画の制作や配信を行っています。今後もより良いPR動画を制作し、市の認知度向上や交流人口の拡大につなげるため、渋川市PR動画のシナリオをコンテスト形式で広く募集します。

コンテストの受賞作品は、令和8年度以降の渋川市PR動画を制作する際に活用する予定です。

2 募集するシナリオ

(1) 5～10分程度の渋川市PR動画制作を想定し、市の魅力が伝わる作品とすること

(2) シナリオの構成は、タイトル、登場人物一覧、あらすじ、本文（柱書き、ト書き、セリフを入れる）とし、指定した様式に記入すること

※柱書き、ト書き、セリフについて

- ・柱書き…場所や時間を指定する要素
- ・ト書き…人物の状況や動作を表す文章
- ・セリフ…登場人物が発する言葉

※様式は、広報室または市ホームページにあります

(3) 本文は原稿用紙5～10枚程度を目安とすること

3 応募資格

個人、団体、プロ・アマチュア、居住地等を問わず、いかなる人も応募可能です。

4 募集期間 令和7年5月1日(木)～7月22日(火)午後5時必着

5 応募作品の主な条件

(1) 応募者本人が制作したオリジナルの作品であり、未発表で他のコンテストなどに応募していないものに限ります

(2) 生成AI等を利用した作品は受け付けません

(3) 応募は1人（1団体）1作品までとします

6 応募方法

市が指定する応募申請書、作品応募用紙及び原稿用紙を使用して、メール (s-oubo@city.shibukawa.gunma.jp)、郵送 (〒377-8501・渋川市石原80番地)、持参のいずれかで広報室へ提出してください。

7 審査方法

審査は、1次審査及び2次審査を予定しています。

1次審査は庁内の審査員が行います。

2次審査は日本のまんなか しぶかわ応援大使 5人（脚本家：飯塚健さん、コピーライター：一倉 宏さん、ファッションモデル：生方ななえさん、俳優：眞嶋 優さん、ヴァイオリニスト・歌手：心奏さん）及び渋川市の市民ミュージカル「渋川子ども若者未来創造プロジェクト」の脚本や演出を務める中原和樹さんに協力いただく予定です。

8 賞

- ・最優秀賞（1点）＝賞金10万円
- ・優秀賞（4点）＝賞金5万円

※審査の結果、該当作品が無いまたは予定数に満たない場合があります

9 受賞作品の発表

受賞作品のタイトルや作者等は、市ホームページで発表する予定です。

10 注意事項

受賞作品の著作権は、無償譲渡するものとし、渋川市に帰属するものとします。

11 その他

シナリオをコンテスト形式で募集し、PR動画を制作する試みは、群馬県内では渋川市が初となります。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 坂本 和馬（内線2416）

資料7

YouTube渋川市公式チャンネルにおける 令和7年度の番組予定をお知らせします

渋川市は、「市がお伝えしたい情報」「観光情報やイベント情報」等をYouTube渋川市公式チャンネルにより配信しています。

令和7年4月と5月に配信を予定している番組と、現在、配信が決まっているシリーズをお知らせします。

※天気等の影響で撮影できず、配信できないことがあります。

1 概 要

YouTube渋川市公式チャンネルは、平成28年5月に開設し、チャンネル登録者数は1,920人、408本の動画を配信しています（令和7年4月15日現在）。令和4年度に配信した日本のまんなか しぶかわ応援大使である渋川清彦さん主演の「水沢うどん」は、50万回を超える再生数を記録し、令和6年全国広報コンクール「映像部門」で入選しました。

渋川市は、引き続き、市の魅力を余すことなく渋川市公式チャンネルを通して配信し、シビックプライドの醸成、シティブランドの向上に努めていきます。

今回は、令和7年4月と5月に配信する予定の番組と、現在、配信が決まっているシリーズについてお知らせします。

2 シリーズ予定

（1）渋川市の伝統芸能を後世に伝える（市職員作成）

地域に伝承されている伝統芸能の動画を作成し、未来に残す資料とともに、配信を通じて渋川市の魅力を市内外に発信します。

配信内容	配信予定日
下南室太々御神楽	令和7年4月下旬
三原田の獅子舞	令和7年5月上旬
猿田彦神社の大和神楽	令和7年5月中旬

（2）広報しぶかわの記事を動画で紹介（市職員作成）

広報しぶかわに掲載したイベント等の様子を動画で配信し、「ふるさと渋川」の魅力を市内外に発信します。

配信内容	配信予定日
白井宿八重ざくら祭り	令和7年5月中旬

（3）「しぶかわ推し」をさらに推します（市職員作成）

第1弾「メニュー（料理・菓子）」として、「しぶかわ推し」に認定されたモノを動画で配信し、「しぶかわ推し」をさらに推していくことで、地域経済の活性化を図ります。

配信内容	配信予定日
しぶかわ推し「〇〇〇〇」	随時

(4) 今月の手話（市職員作成）

「共生社会実現のまち」を目指し、広報しぶかわに掲載した手話を動画で紹介します。

配信内容	配信予定日
手話で思いを伝えよう	広報しぶかわ配布日

(5) 渋川市PR動画（委託事業者作成）

渋川市の認知度の向上と市民の市への愛着や誇りといった郷土意識の醸成を図り、交流人口や定住人口の拡大につなげます。

配信内容	配信予定日
渋川市の魅力を全般的に紹介する10分程度の動画	令和8年2月予定
渋川市の歌「力合わせて」の動画	令和8年2月予定

参考

県内12市動画チャンネル登録者数及び動画配信数（令和7年4月15日現在）

No.	自治体名	チャンネル登録者数	動画配信数
1	前橋市	7,130人	886本
2	高崎市	6,710人	1,058本
3	桐生市	3,850人	275本
4	伊勢崎市	1,290人	311本
5	太田市	1,510人	221本
6	沼田市	1,380人	260本
7	館林市	1,190人	143本
8	渋川市	1,920人	408本
9	藤岡市	884人	246本
10	富岡市	402人	99本
11	安中市	1,630人	155本
12	みどり市	547人	64本

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 坂本 和馬（内線2416）

資料8

ミニシンポジウム「しぶかわ未来共創まちなかセッション」 を開催します

渋川市は、「人口減少」などの課題を市民の皆さんと共有し、共に市の未来を考えるためのミニシンポジウムの第4弾を、5月30日(金)に中心市街地エリアで開催します。

1 概 要

全国的にも進む「人口減少」や「少子高齢化」は、渋川市にも様々な影響を及ぼしています。

渋川市が抱える状況を市民の皆さんと共有し、共に市の未来を考えるためのミニシンポジウムを、中心市街地エリアで開催します。

2 日 時 令和7年5月30日(金) 午後6時～7時30分

3 会 場 渋川公民館 講堂(渋川市役所第二庁舎1階・渋川市石原6-1)

4 内 容

伊香保地区・小野上地区・金島地区同様、「人口減少やこれに伴う学校・公共施設のあり方、行政サービスの維持など」をテーマとしながら、テーマに関する市の説明の他、参加者間での意見交換を行います。

5 対 象 者 市内在住・在学・在勤の人の方ほか、どなたでも参加いただけます

6 定 員 50人(先着順)

7 参 加 料 無料

8 申込方法

(1) 氏名、年齢、住所、電話番号を、電話(0279-25-8419)

またはメール(mirai@city.shibukawa.gunma.jp)で政策戦略課へ

(2) 市ホームページの専用応募フォーム

応募フォームはこちら▶



9 そ の 他

(1) 今後も、市内各地区で開催する予定です

(2) 託児、車椅子、移動の介助、手話通訳等を希望される人は、気軽に相談してください

参考

今までの開催実績について

	開催日時	会場	参加者数
しぶかわ未来共創 ワインターセッションin伊香保	令和7年2月6日	伊香保公民館 講義室	13人
しぶかわ未来共創 スプリングセッションin小野上	令和7年3月26日	小野上公民館 講義室	24人
しぶかわ未来共創 スプリングセッションin金島	令和7年4月24日	金島公民館 ホール	12人

■総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)
担当: 政策戦略課 (電話0279-25-8419)
課長 小野 篤史 (内線2420)
未来戦略係長 齋藤 大輔 (内線2423)

しぶかわの未来を「共に考え、共に創る」場所

しぶかわ未来共創

まちなかセッション

2025年

5/30(金)

PM6時～7時30分

会場

渋川公民館
講堂

入場無料
定員50名
(先着順)



プログラム

渋川市が抱える「人口減少」などの課題を、市民の皆さんと共に共有し、共に市の未来を考えるために、①テーマに関する市の説明、②参加者間での意見交換を行う、ミニシンポジウムを地区別で開催します。今回のテーマは、「人口減少やこれに伴う学校・公共施設のあり方、行政サービスの維持など」です。

当日は、市の財政や公共施設、水道事業や教育環境の状況をまとめた資料を配付します。

申し込み方法

■次のいずれかの方法でお申し込みください。

①電話(政策戦略課直通、TEL0279-25-8419)

②メール(mirai@city.shibukawa.gunma.jp)

※氏名、年齢、住所、電話番号をご記載ください。

③市ホームページの専用応募フォーム

※右の二次元コードからご応募ください。

■託児、車椅子、移動の介助、手話通訳等を希望される方は、お気軽にご相談ください。



主催：渋川市

資料9

渋川市20周年記念事業 ラジオ体操会を開催します

渋川市は、市民の健康増進と交流機会の増加を図るため、5月17日(土)から地域のラジオ体操会を開催します。

市内5会場で開催し、当日は渋川市スポーツ推進委員が指導を行いながら、参加者全員でラジオ体操を楽しみます。

1 概 要

渋川市は、いつでも、どこでも、誰でも、気軽に取り組めるラジオ体操の普及を推進し、市民の健康増進と交流機会の増加を図るため、令和3年度から地域のラジオ体操会を開催しています。

ラジオ体操会は、渋川市スポーツ推進委員が中心となって運営や指導を行い、参加者全員でラジオ体操を楽しみます。令和7年度は、過去3年間、6月から11月までだった開催期間を1カ月前倒しして、5月から10月までの6カ月間実施します。

2 日 時 令和7年5月17日(土)～10月26日(日)までの毎週土・日曜日
午前7時から15分程度

3 会 場

渋川市内公園施設等(計5カ所)

- (1) 渋川駅前広場(渋川市渋川1688-1)
- (2) 古巻小学校校庭(渋川市八木原852)
- (3) 子持ふれあい公園(渋川市吹屋658-1)
- (4) 赤城行政センター(渋川市赤城町敷島568-1) ※会場変更
- (5) 愛宕山ふるさと公園(渋川市北橘町小室404-1)

4 内 容 参加者全員で、ラジオ体操第1及びラジオ体操第2を行う

5 対 象 者 参加希望者(居住地域は問いません)

6 参 加 料 無料

7 参加方法 開催日に直接会場で参加(事前申込み不要)

8 そ の 他

- (1) 会場での運営は、渋川市スポーツ推進委員が行います
- (2) スタンプカードを配布し、6カ月間の実施回数の5割以上に参加した人には、参加奨励賞として渋川市スポーツ推進委員が開催不可と判断した場合は中止とします
- (3) 令和7年度のラジオ体操普及推進の取り組み
 - ・5～10月：ラジオ体操会(市内5会場)
 - ・11月頃：ラジオ体操指導員資格認定講習会

※その他ラジオ体操を自主的に行う任意団体や事業所へのスタートアップ支援を行います

9 周知の方法

市ホームページや広報しぶかわに掲載するほか、市関係施設へのチラシ配布及び市公式LINEにより周知します。

参考

1 過年度の実施状況

(1) 令和3年度

①会場数：6会場（中村緑地公園、伊香保世代間交流館、かに石公園、子持ふれあい公園、赤城健康公園、愛宕山ふるさと公園）

②時期・回数：8～11月（週1回）、計47回開催（新型コロナによる中止あり）

③参加数：延べ590人

(2) 令和4年度

①会場数：3会場（子持ふれあい公園、赤城健康公園、愛宕山ふるさと公園）

②時期・回数：6～11月（週2回）、計152回開催

③参加数：延べ3,317人

(3) 令和5年度

①会場数：4会場（渋川駅前広場、子持ふれあい公園、赤城健康公園、愛宕山ふるさと公園）

②時期・回数：6～11月（週2回）、計189回開催

③参加数：延べ3,771人

(4) 令和6年度

①会場数：5会場（渋川駅前広場、古巻小学校、子持ふれあい公園、赤城健康公園、愛宕山ふるさと公園）

②時期・回数：6～11月（週2回）、計244回開催

③参加数：延べ6,212人

2 スポーツ推進委員とは

スポーツ推進委員は、渋川市が委嘱する委員で、市が掲げる合い言葉の「一市民一スポーツ」、「生活の中に運動を」を実現するため、市民へのスポーツの実技指導や、その他のスポーツに関する指導や助言を行っています。

渋川市のスポーツ推進委員は、ラジオ体操の普及推進のほか、各公民館におけるスポーツ活動、生涯スポーツの振興など、多岐に渡って活動しています。

■問い合わせ先

育都推進部 部長 斎藤 章吉（内線1150）

担当：スポーツ課（電話0279-22-2241）

課長 関口 俊也（内線4957）

課長補佐 荒木 忠（内線4970）